

第16回国際救援・開発協力要員研修Ⅱ（IMPACT）開催要綱

1 目的

この研修は、赤十字国際委員会（ICRC）、国際赤十字・赤新月連盟（連盟）と日本赤十字社を含めた各国赤十字社が作成した要員養成研修モジュールに基づき、国際救援・開発協力要員研修Ⅰ（WORC）で習得した理論を元に、ケーススタディ及びグループ討議等により、海外に派遣された際の職務を全うするために必要な国際救援・開発協力の実践的知識・技術を修得することを目的としています。あわせて、日本赤十字社から派遣される国際要員の派遣体制を説明する機会とします。

2 開催日時

令和7年2月11日（火）10:30～2月15日（土）16:30（予定）

※令和7年1月31日（金）16:00～17:00開催のDay0（Welcome）にも参加すること。

3 開催場所

湘南国際村センター

住所：〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39

URL：<https://www.shonan-village.co.jp/>

※Day0はオンライン（Zoomを使用）

4 主な研修内容（予定）

- (1) 国際要員の役割（チームとしての機能・多様性・行動規範）
- (2) ジュネーブ諸条約と国際人道法
- (3) 災害対応（防災・被害軽減・救援・早期復興）への赤十字活動
- (4) 各国赤十字社を支援するICRC・連盟の役割と機能
- (5) 派遣先における活動、各国赤十字社国際要員との相互協力
- (6) 既派遣者によるプレゼンテーション
- (7) 派遣先での安全管理、メディア対応
- (8) 国際要員の登録、派遣要請、要員選考、雇用、派遣までの流れ

5 研修対象者

次の(1)～(3)の要件のいずれかを満たす者とします。

- (1) 研修終了後、中長期（3か月～1年以上）の海外における救援活動、復興支援事業又は開発協力事業に必ず応じられる日本赤十字社職員、赤十字ボランティア及び日本赤十字学園教職員で、職員については、支部事務局長、施設長又は本社所属部室長、教職員については学園法人本部事務局長による推薦がそれぞれあった者。（以下「日本赤十字社職員等」とする）
- (2) 国際赤十字から推薦を受けた連盟職員、姉妹社職員及びボランティアで国際要員として派遣予定の者、または派遣中の者。
- (3) 日本赤十字社職員以外の方で、近い将来、長期での海外派遣が可能であり、赤十字の人道支援活動に従事することを志す者。

6 参加資格要件

- (1) 本研修は、全て英語で行われるため、その講義が十分理解でき、さらに英語で意を述べる、質問をする、発表をする、意見交換をする等、積極的な参加姿勢を有している者。
- (2) Day0 及び研修期間、全課程（全科目）に参加できる者。
- (3) 以下の国際赤十字・赤新月社連盟の eラーニングを修了していること。

<https://ifrc.csod.com/client/ifrc/default.aspx>

※連盟の eラーニングプラットフォームを利用するためには、各自でアカウント登録が必要。研修終了後の検定テストに合格すると発行される修了証を令和7年1月31日（金）迄に本社国際部企画課研修係あてメールにて提出すること。

e-learning 名	所要時間（目安）
WORC: World of Red Cross and Red Crescent	4時間 30分
Stay Safe 2.0 Global Edition: Level 1-Fundamentals	4時間
Stay Safe 2.0 Global Edition: Level 2 - Personal and Volunteer Security in Emergencies	
Live the Code (Code of Conduct)	30分
Principles and Rules for Red Cross and Red Crescent Humanitarian Assistance	60分
101 Corruption prevention	1時間 40分
Child Protection at the IFRC	30分
Saying NO to Sexual Misconduct	30分
Targeted- An introduction to cybersecurity	30分

- (4) 以下の分野で活動経験のある専門家（マネジメント、人事労務、財務、通信、ロジスティクス、給水・衛生、シェルター、リハビリテーション、公衆衛生、心理社会的支援、現金給付支援 等）。援助機関や民間企業の海外部門等での活動経験があるとなお望ましい。
- (5) 英語に加え、フランス語、スペイン語、アラビア語等で業務遂行が可能であればなお望ましい。
- (6) 日本赤十字社等職員の場合
 - ・原則社会経験3年以上、英検準1級又は TOEIC730点以上の英語力を有すること。
 - ・業務扱いで参加することが出来るもの。
- (7) 外部受講希望者（日本赤十字社職員等でない方）の場合
 - ・長期派遣に必ず応じられること。
 - ・大学院卒か同等の知見を有する者、社会人経験3年以上、TOEIC860点程度であること。

7 選考

応募のあった参加希望者の中から、下記の選考を経て、近い将来赤十字の国際救援・開発協力要員として活動することが期待できる者を、研修参加者として決定します。

書類選考：提出いただいた書類により実施します。

面接試験：必要に応じて上記書類選考を通過された方を対象に実施します。

（詳細はあって本人に直接連絡します。面接はオンラインでの実施を予定しています。）

※研修会の運営上、定員は24名程度とします。

8 研修期間中の評価及び派遣要員登録について

全課程を修了した者を対象に、日本赤十字社スタッフが派遣要員としての資質、語学力、積極性、指導力等の研修期間中の成果を確認し、国際救援・開発協力要員として登録します。

*研修修了者は令和6年度中に派遣が可能な人材として登録されますが、実際の派遣には、資格要件・職種・派遣期間等を明示して募集を行い、派遣可能な登録者の中から事業と登録者のマッチングを行います。よって、登録は実際の将来の派遣を確約するものではありません。

また、登録された参加者については、令和7年3月中に各15分程度の面談（オンライン）を実施予定であること。

9 研修参加費

約70,000円

宿泊費4泊5日分及び2月11日昼～15日昼までの食事が含まれます。詳細は参加決定後にご連絡いたします。Day0の研修参加に必要なPC関連機材の準備及び通信にかかる費用は参加者負担となります。

(1) 日本赤十字社職員

研修参加に必要な参加費及び旅費等は、支部・施設所属の方は、国際医療救援事業交付金の対象となるため、追って申請・充当すること。なお、同交付金の旅費の扱いについては、平成26年9月30日付人事第445号「本社招集旅費の取扱いについて」が適用されること。

(2) 外部受講希望者

研修参加に必要な参加費・交通費・旅費等は参加者個人または所属団体の負担とします。

10 提出書類

参加希望者は、以下の書類を添えて令和6年12月27日（金）までに本社事務局国際部企画課研修係あてメールにてお申し込みください。

(1) 英文のCV（様式は問わない）

(2) 英語レベルを証明する試験結果の写し（TOEIC、英検等）

*試験結果の提出が間に合わない者は事前に相談すること。

(3) 上記6(3)のeラーニングの修了証（令和7年1月31日（金）迄に本社国際部企画課研修係あてメールにてご提出ください。）

(4) オンラインフォームへの入力

応募締め切り日までに以下のURLより入力を完了させること。応募フォーム内には日本語及び英文の参加希望理由を記入する欄があります。

「テーマ：赤十字の要員を志望する理由、将来赤十字の要員としてどのような貢献が出来るか。（400字）」

※応募フォームは一時保存が出来ませんのでお時間に余裕がある時にご入力ください。また、参加希望理由については文字数制限がありますので、Wordで一旦下書きいただいたものを貼り付けてご入力いただくことをお勧めします。

<https://forms.office.com/r/FTZV8fy0Tg>

（入力締切：12月27日）



1 1 研修の構成と事前学習

本研修は、自己学習による e ラーニングの修了（約 10 時間）並びに、対面型の研修受講から構成されています。e ラーニングの詳細は参加決定後にお知らせします。

1 2 留意事項

(1) Day0 の参加について

- ・オンライン研修の参加に必要なインターネット環境は各自で確保すること。
- ・研修参加時は 1 人 1 台デバイスを用意して接続すること。なお、より効果的に参加できるようパソコンからの接続を推奨すること。
- ・ウェブカメラを利用できること。

1 3 スケジュール

日程	内容
12/27（金）	応募〆切
1月中旬	参加者決定通知
1/31（金）	Day0
	・IMPACT 研修に関する説明とグループの顔合わせを兼ねて 1 時間程度を予定
2/11（火）-2/15（土）	研修本番

1 4 その他

ご不明な点については、本社事業局国際部企画課研修係までお問い合わせください。

日本赤十字社 事業局 国際部 企画課 研修係
〒105-8521 東京都港区芝大門一丁目 1 番 3 号
Tel: 03-3437-7090
Fax: 03-6679-0785
Mail: kokusai-training@jrc.or.jp